



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所
〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486
営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2020/ 5/5
火曜日

厚別アラ歩き #32 ひばりが丘⑤ 阿部仁太郎の厚別での功績

前号では阿部仁太郎という人物を、厚別に至る前の足跡からたどりしました。今号では厚別でどのような功績があったか、振り返ります。明治の中頃、豊平村で農業用水路を開くなど指導者として活躍した仁太郎は、白石村厚別に土地を求め、開墾しました。大正期には土地40町、小作27戸の農場を経営したことが記録されています。これは札幌近郊における農場では有数の規模です。仁太郎は豊平村で教育、福祉、郵便事業などに尽力したと同様に、厚別でも地域の発展に貢献しました。その一つが「厚別停車場通」です。この通りは1892(明治25)年に開かれました。函館本線(当時、北海道炭礦鉄道)に厚別駅が開業する1894(明治27)年の2年前です。駅ができる前に“駅前通り”が造られたこととなります。白石村で白石駅に先立って厚別駅が開業したのは、仁太郎らの周辺整備が功を奏したのかもしれません。

図1は現在の厚別停車場通です。かつてはこの通りに沿って、旅館や商店が多く建ち並んでいました。今ではほかの幹線道路と比べると道幅が狭く感じられますが、「北海道道」です(注)。ほかの道路よりも広く整備されて、「八間道路」と呼ばれていました。図2は、厚別停車場通あたりの標高を色別に表わした地図です。停車場通が標高の比較的高い尾根筋に通じていることが読み取れます。このあたりは一部泥炭地が入り込んでいて軟弱な地質ですが、できるだけ地盤の良いところを選んで道を造ったのでしょう。信濃神社や信濃小学校など、村人にとって大事な施設が近くに古くから立地しているのも頷けます。旅館や商店の多くは姿を消しましたが、まちづくりセンターや信濃交番、消防分団の倉庫などが通りに面して建っているのは往時のメインストリートの証です。

(地域史研究者 杉浦正人)



図1：現在の厚別停車場通(道道厚別停車場線)

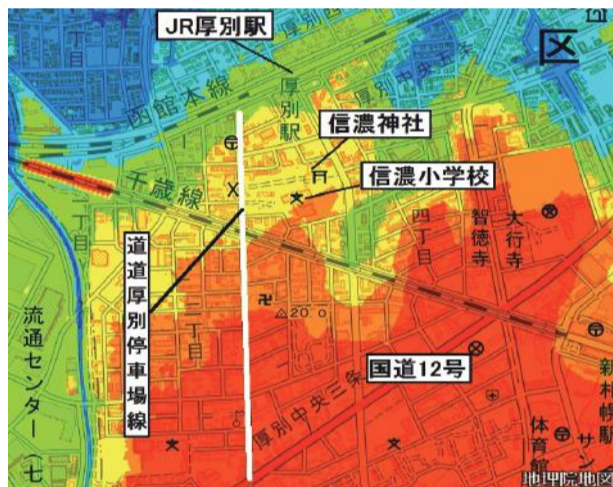


図2：色別標高図(標高10m未満から2mごと7色段彩、国土地理院サイトから作成)

参考文献：『新札幌市史 第2巻 通史2』1991年、第6編第3章、p.710、『さっぽろ文庫11 札幌の駅』1979年、pp.126-128、『同78 老舗と界限』1996年、pp.190-197、『あつべつ区再考』1994年、pp.62-65、『厚別中央 人と歴史』2010年、pp.15-16
注：「道路法」により、主要な駅と国道などを結ぶ道路が都道府県道に認定される。厚別停車場通のうちJR厚別駅から国道12号までは「一般道道厚別停車場線」である。

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう！



★みなさまの血液は、誰かのいのちに繋がります★
～ A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

- ◆厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階 5/6(水)まで 臨時休業
- ◆受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。

